

教科	教科の課題 生徒の実態	具体的な授業改善策 補充的、発展的な改善内容	成果・課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着において二極化の傾向がある。 意欲的に授業に取り組む生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テスト・テスト直しを継続して行う。 分からない漢字は国語辞書を使って調べるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを継続して行い、点数が上がった。 文章で書く際に漢字を使わずに書く生徒がいる。辞書を使うことを引き続き指導をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着において二極化の傾向がある。 社会的な出来事への興味関心が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な学習の仕方を適宜紹介する。 ペアワーク等の協働的な学習を取り入れて、学び合う学習を展開する。 時事レポートを課し、時事問題への興味関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の仕方を工夫することができ、定期考査の平均点が上がった。 感染症対策から、なかなか協働的な学習を採り入れることができなかった。 時事問題に対して継続して興味関心をもてるようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 前向きに取り組もうとしている生徒が多い。 学習意欲や習熟度の差が大きい。 基本的な知識や技能の習得に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識や技能の向上のため、宿題や小テスト等により反復練習を行う。 ペアやグループで学び合うことで、知識や技能の定着を図るとともに、習熟度の差を縮める。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復練習により、基本的な知識や技能の向上が見られた。 学習意欲や習熟度の差があり、グループ学習等を継続することで全体の底上げを図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 圧力や濃度などの計算問題を苦手とする傾向がある。 積極的に発言する生徒が多く、前向きに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題の課題に定期的に取り組ませ、反復練習を行う。 実験の考察を自分で文章化できるように、授業中に取り組む時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題の課題に取り組むことで少しずつ正解率が上がった。 実験の考察を自分で文章化できる生徒がまだ少ない。引き続き取組を継続する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 課題に前向きに取り組む姿勢がある。 互いに声を掛け合い、補い合おうとする学年の雰囲気がある。 音楽経験・能力に個人差があり、個人で思考して表現する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽や合唱において、グループで協力して学習活動に取り組む方法を定着させ、個人差を縮める。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動に協力して取り組む姿勢ができた。 内容によっては、生徒が自主的に活動を進めることに課題がある。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 授業に意欲的に取り組んでいる。 忘れ物が原因で、作業の進行に課題のある生徒がいる。 作業に時間がかかる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物がないよう前日に声かけをしたり、連絡帳に書かせたりする。 授業に集中して取り組む雰囲気づくりを行う。状況に応じて、放課後の補習の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具を学校で預かる形を取れる時は、忘れ物がなく進められた。連絡帳に書かせても厳しい部分はある。 授業中に私語なく取り組める雰囲気は、まだない。リラックスした空気で作ることと、私語なく制作できる雰囲気を共存させたい。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に対して積極的な生徒が多く、活動に意欲的に取り組むことができる。 個々の体格や体力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒に応じて段階的に課題を設定することで、全体的な体力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的に課題を設定することで、主体的に思考・判断して体力の向上を目指すことができていた。 説明を理解する能力に課題がある。
技術	<ul style="list-style-type: none"> 授業や実習に意欲的に取り組んでいる。 知識の定着に課題がある生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの活用を充実させる。 プリントをきちんとまとめさせ、提出を徹底させる。 生徒の理解度に合わせて個別に説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の理解度にに応じて、プリントの内容を簡潔にまとめたり、個別指導を行ったりすることができた。 座学のとときの集中力に課題がある。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業中のワークや話し合いに積極的に取り組んでいる。 自分の意見を言語化して表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より多様な意見に触れられるように話し合い活動を充実させる（ジグソー学習・模造紙の活用した発表等）。 授業の最後にはまとめワークを毎回行い、自分の考えを具体的に言語化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動によって様々な見方・考え方に触れさせることができた。 対話で自分の考えを伝えることはできるが、書いて伝えることの能力に課題がある。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 英語の文字や音声の理解が深まっている。 設問の意図が読み取れていないことも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用教材を繰り返し使い、4技能それぞれに特化した活動で定期的に復習の機会を設ける。 英語を使用する様々な場面を想定した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や音声の理解が進んだが、一割程度の生徒には困難が見られる。 設問の意図が読み取れるようになった。